

住民協働事業審査会 講評

NO	団体名／事業名	関係課	講評
1	特定非営利活動法人 リンク/ひきこもり当事者及び家族の支援	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・対住民、関係者、家族、当事者の各々に情報を発信し、アクションを起こすきっかけを与えられたと思う。 ・今後は広域的な連携プラットフォームを作ってほしいので、担当者とも相談してもらいたい。 ・コロナ禍の中でもオンラインを活用して、事業を継続して実施できました。 ・当事者からの相談や公開講座でたくさんの市民の声が聞けたことは評価できる。 ・求められる事業であり、専門性も問われる事業なので、今後も継続されることを、そして、そのためにこの事業の成果が生かされることを望む。 ・活動が市内に浸透していなかった当時からすると、年々活動内容が充実して来た様子が分かり、協働事業としての意義を実感できる活動だったと思う。 ・充実した事業で大いに評価できた。
2	日本語教室委員会/ 日本語教室の運営	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を学ぶ機会を丁寧に蓄積されている。 ・外国人コミュニティ、地域団体など、多様な中間団体と連携を深め、より当事者に接近した支援を広げてもらいたい。 ・多文化共生を進めていくうえで、市と市民の協働による日本語教室は必要とされる事業である。 ・今後、コロナ禍による事業実施の制限がある中で、オンラインなども活用して工夫してできる形をさがって実施してほしい。 ・多文化共生のこの事業について学校(子供の教育)や自治会などの関連でも進めていければと思う。 ・在住外国人の日本語教室へのニーズを的確にとらえ、指導者の研修を深めながら、更に充実した事業展開を望んでいる。 ・コロナ禍において、いかに活動を継続、発展させるか。これからの事を考えても、協働事業に取り組んでいる最中に、具体的な課題解決を実施して欲しかった。